

事務事業名	真岡市小中学校手をつなぐ親の会連合会運営補助金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費			
事業概要	この会は特別支援学級のある真岡市内の小・中学校（真岡小・真岡東小・真岡西小・亀山小・大内中央小・大内西小・山前小・西田井小・中村小・長田小・長沼小・久下田小・物部小・真岡中・真岡東中・真岡西中・大内中・山前中・中村中・久下田中・物部中）で組織されている。毎年開催される親子学習会の報告書作成代として、補助金を支出している。 補助金額20,700円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、運営支援のための補助金を交付する。  2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	補助金額	千円	24	24	24	21	21	
	イ	学習会開催数	回	1	1	1	1	1	
	ウ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市小中学校手をつなぐ親の会連合会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	手をつなぐ親の会連合会保護者数	人	193	202	197	221	230	
	イ								
	ウ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 特別支援学級の親子が校外学習を実施することにより、見聞を高め、交流を深める。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	親子校外学習に参加した親子	組	104	136	110	110	110	
	イ								
	ウ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 特別支援教育の充実を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	特別支援教育の充実が図られた親子の割合	%	53.8	67.3	55.6	55.6	55.6	
	イ								
	ウ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	24	24	24	24	24
	事業費計(A)		千円	24	24	24	24	24	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1	
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	28	28	28	28	28	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	特別支援学級に通学している親子の校外学習を支援するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	特別支援学級に通学している児童・生徒は、若干増加傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	